

多言語通訳システムを導入

坂戸・鶴ヶ島消防組合

在留外国人、訪日外国人が増加している現状において、坂戸・鶴ヶ島消防組合では多言語通訳システムを導入しました。

このシステムは14言語の通訳が24時間対応可能です。119番通報を受けた通信指令員及び現場活動隊員が、日本語を話せない外国人とのコミュニケーションを取るための手段とすることで、外国人も日本人と同様な災害対応ができることを目的としています。

消防と科学のコラボレーション！
～青少年のための科学の祭典～

東京消防庁小金井消防署

当署では、9月24日(日)子供たちの科学の力を育むことを目的としたイベント(青少年のための科学の祭典)において、消防に科学の力が活かされていることをアピールしました。

消防技術安全所による実験コーナーでは、スプレー缶のガスによる大きな爆発音を体感し身近な危険物に目を向けるきっかけとなりました。

また、三本ハイパーによる救助ロボット実演では、危険な環境下でも障害物を除去し無人で救助を行うロボットに「かっこいい!」と大きな歓声と拍手が送られました。



救助ロボット



実験コーナー

消防通信 望楼 ぼうろう

消防署・消防団による「遠距離送水訓練」を実施

海老名市消防本部消防署

海老名市消防署では、平成29年9月10日、市境を流れる一級河川相模川の河川敷において、遠距離中継送水訓練を実施しました。訓練では、大規模な地震や火災により使用できる消防水利に限られた状況を想定し、消防団ポンプ車7台、消防署ポンプ車1台を使用し、約1キロの遠距離中継送水訓練を行いました。この訓練では、消防ポンプ操作技術及び無線運用の理解を深め、消防署と消防団の連携強化を図りました。



消防団員基本訓練を実施

堺市消防局

堺市美原消防団では、4月から8月にかけて、消防団員基本訓練を実施しました。

内容は、規律訓練、防火衣装着訓練、ホース延長訓練、消火栓取扱訓練、チェーンソーや発電機等の資機材取扱訓練のほか、住民への指導を目的とした消火器取扱説明訓練を実施し、消防団員としての基本的な資質及び消防技術の向上に努めました。

これらの訓練を継続して実施することで、今後も消防団イコール地域の防災リーダーとしての役割をしっかりと果たしていきます。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。
ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】